

SDGs に関連したシンポジウム

A Symposium Related to SDGs

<プロジェクト・メンバー>

南部 和香^{†1} 長橋 透^{†1} 石田 博之^{†1} 村田 和義^{†1}
高村 正志^{†1} 吉田 葵^{†1}

Nambu Kazuka^{†1} Nagahashi Toru^{†1} Ishida Hiroyuki^{†1} Murata Kazuyoshi^{†1}
Takamura Masashi^{†1} Yoshida Aoi^{†1}

^{†1} 青山学院大学社会情報学部

^{†1} School of Social Informatics, Aoyama Gakuin University

キーワード：SDGs, 産官学プロジェクト

Keywords: SDGs, Collaboration of industry, government and academia, symposium

1. プロジェクトの目的と概要

本プロジェクトは、2021年3月25日に社会情報学部が相模原市の「さがみはら SDGs パートナー」となったことを契機とし、SDGsの目標達成に向けて産官学が連携して学びと情報共有の場を設けることを目的としている。本取り組みは近年大学に求められる教育機関による地域貢献の一つであると考えている。

これまでの実績として、2021年度「共にささえあい生きる社会の実現一障がいのある学生の社会参加を目指して」では、障がい、ケガ、病気によって支援を必要とする学生の進路・就職に焦点をあて、自治体や大学のサポート体制、障がい学生の進路・就職に求められるサポート、企業側の受け入れ体制などについて、相互に理解しあう場を提供する目的でシンポジウムが開催された。また、2022年度「脱炭素社会の実現を目指して一産官学の視点から」では、脱炭素社会の構築に向けた企業・自治体・大学・研究機関・地域社会の相互理解が進むことを期待してシンポジウムが開催された。

2. 本年度の取り組み

本年度の活動としては、相模原市主催「ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ」企画運営、シンポジウム参加、そして次のシンポジウム開催に向けての勉強会の開催が挙げられる。

2-1. 「ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ」企画運営

「ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ」[1]は、相模原市主催の大学生による脱炭素社会実現に向けた施策アイデアコンテストである。昨年度に引き続き、本学部は本委託事業の企画運営を担当した。事業要領は以下の通りである。

開催日時：2023年11月18日（土）

15:00-17:00

会場：青山学院大学相模原キャンパス F 棟 1 階
ラウンジ

参加チーム：4 大学 10 チーム（47 名）

参加者総数（発表者を含む）：94 名

企画運営業務は5月より開始した。主なスケジュールは下記の通りである。

- 5月 打ち合わせ開始
- 6月 さがみはら環境まつりにて昨年度の ZERO CARBON
ポスターセッションチャレンジ参加者発表
- 7月 市と大学の委託契約書類準備
- 8月 チラシ作成
- 9月 オンラインミーティング
- 10月 審査員および副賞決定
- 11月 18日 ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ
- 12月 副賞発送
- 1月 実施報告書作成



図1 ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ特設サイト



図2 ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ配布チラシ

2-2. シンポジウム参加

勉強会の一環として、相模原 SDGs EXPO において開催されるシンポジウム「循環が創る持続可能な未来」への参加を予定している[2]。持続可能な社会の構築に向けて、いかにして大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから循環型社会システムに移行するのかについて、企業の取り組みを学ぶ機会としたい。

日程：2024 年 2 月 2 日（金）

場所：杜のホールはしもと

主催：相模原市



図3 相模原 SDGs EXPO

2-3. 勉強会

6月よりプロジェクトメンバー内での打ち合わせをスタートした。3月に勉強会を開催する予定である。これまでの検討で挙げたテーマには以下がある。

- ・循環型社会構築に向けた動向
- ・障がい者スポーツ
- ・LGBTQ+
- ・プラスチック資源循環
- ・森林資源の保全と有効活用



図4 本シンポジウムと関連するSDGsのゴール

このうち、循環型社会形成に関しては、6月に三友環境総合研究所の増田光彦氏による勉強会が南部研究室において実施された。引き続きテーマを検討し、年度内に勉強会を開催する予定である。

3. 来年度に向けて

本年度は、シンポジウムの開催に向けた準備期間となった。引き続き、産官学で連携しながらSDGsに関わるテーマでのシンポジウムを企画実施していきたいと考えている。

参考 URL

- [1] ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ, <https://sgmhr.si.aoyama.ac.jp/zeroc/index.html>
(参照日：2024年1月9日)
- [2] さがみはら SDGs パートナーズフォーラム「第2回相模原 SDGs EXPO」
<https://sdgs.city.sagamihara.kanagawa.jp/sdgs-expo2023/>
(参照日：2024年1月9日)